



2018年8月31日

各位

会社名 岩崎通信機株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
西戸 徹
(コード番号 6704 東証第一部)
問合せ先 取締役 執行役員 管理本部長
佐藤 修
TEL 03-5370-5111

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2018年5月14日に公表した2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期連結業績予想値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月14日発表)	百万円 22,500	百万円 150	百万円 300	百万円 250	円 銭 25.26
今回修正予想(B)	22,500	70	150	500	50.52
増減額(B-A)	-	△80	△150	250	-
増減率(%)	-	△53.3%	△50.0%	100.0%	-
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	21,586	112	282	269	27.21

2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前期実績の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しています。

2. 修正の理由

2019年3月期の通期連結業績につきましては、本日発表の「退職金制度の統合による特別損失の発生のお知らせ」及び「固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上及び繰延税金負債の取崩しに関するお知らせ」に関連して、退職金制度の統合に伴う退職給付費用(営業費用)48百万円の計上、固定資産の譲渡に伴う事業税(営業費用)31百万円の計上及び不動産賃貸料(営業外収益)91百万円、不動産賃貸費用(営業外費用)53百万円それぞれが減少すること等により、営業利益及び経常利益は前回発表をそれぞれ下回る見通しとなります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、退職金制度統合に伴う特別損失461百万円、固定資産の譲渡に伴う特別利益665百万円及び繰延税金負債の取崩しによる法人税等調整額の戻入益603百万円、並びに法人税等の増加額403百万円をそれぞれ計上することにより、前回発表を上回る見通しです。

<業績予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し及び将来の予想に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

以上